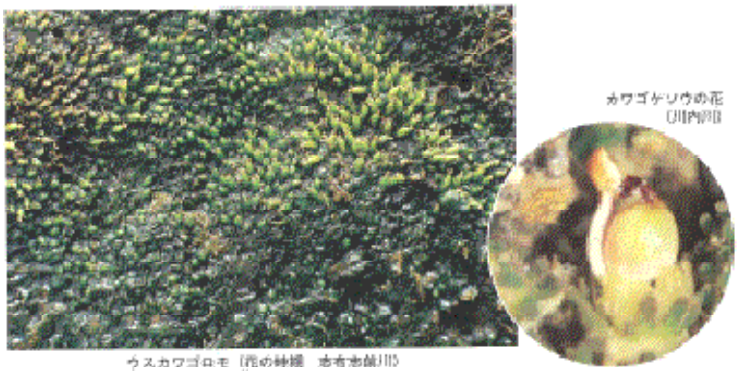
# カワゴケソウ科

【所　在　地】薩摩郡さつま町山崎（久富木川），伊佐市下殿（川内川），伊佐市菱刈町湯之尾（川内川），南さつま市古瀬（万之瀬川），南九州市頴娃町平瀬（馬渡川），肝属郡錦江町半下石（神川），肝属郡南大隅町小川内（雄川），志布志市志布志町潤ケ野（前川）・下柳（安楽川），熊毛郡屋久島町一湊（一湊川）
【種　　別】県指定天然記念物
【指定年月日】昭和 29 年３月 15 日




カワゴケソウの花（川内川）

ウスカワゴロモ（花の時期　志布志前川）

カワゴケソウ科の植物は，熱帯から亜熱帯の河川の急流に生息する水生の種子植物で，世界に約 200 種が知られているが，日本では琉球，奄美を飛び越えて県本土及び屋久島と，宮崎県の一部の河川でのみ見られる極めて珍しい植物で，２属７種が分布する。

日本のカワゴケソウはいずれも急流の岩盤や大きな石に固着して生育し，葉は針状で茎とともに退化し，根が葉状となって固着機能が発達し光合成を行うなど，外観は蘚苔類に似る。冬季に水中で１～２ mm ほどの花を咲かせ結実する。花は両性花で花弁はない。種子による繁殖も行うが，急流の岩盤状に生息場所を確保する必要から，宿根しつつ新芽を出して次々と株を増やして増殖する。

生育環境が，水深 40cm 内外，流速は毎秒１～ 1.5m で，極めて水質の良い清流に限られるため，河川の水質汚染や流速変化等，環境変化の指標生物ともなる。

＜本県で生息するカワゴケソウ科の種名と産地＞

| | | |
|---|---|---|
| カワゴケソウ属： | カワゴケソウ（川内川，安楽川） | トキワカワゴケソウ（馬渡川） |
| | マノセカワゴケソウ（万之瀬川） | タシロカワゴケソウ（雄川） |
| カワゴロモ属： | ウスカワゴロモ（安楽川，前川） | ヤクシマカワゴロモ（一湊川） |
| | カワゴロモ（雄川，神川，高須川，肝属川） | |